

冬を楽しむ～年間を通じて～

ここが
ポイント

同じ公園に通い、遊ぶ

札幌市のある学校の近郊には、大きな公園があります。そこでは、春には桜が咲き、夏には遊水路に水が流れ、秋にはどんぐりや落ち葉が溢れ、冬にはたくさんの雪が降り積もります。

一年を通して、同じ公園に足を運ぶことで、公園を正しく利用する力を身に付けるだけではなく、季節の変化を大いに感じることができます。冬に訪れた公園で季節の変化を楽しむにあたり、三つのポイントを紹介します。

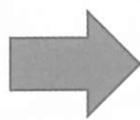
ここが
ポイント

同じ場所を比べてみる

どの季節でも、毎回同じ場所を見るようにします。そうすることで、「前に来た時と何か違うね。」「冬には、こんな景色になるんだね。」と、季節の変化をより感じることができます。同じ場所という視点だけではなく、同じ木や同じ遊具というように、一年中同じ生き物や物を観察するといったことも有効な手立ての一つです。



川が流れているよ！



川が凍っているね！



遊具で遊べるね！



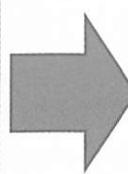
遊具では、遊べないね！

Active

季節によって、できる遊びとできない遊びがあります。その季節にしかできない遊びを探すことで、その季節の特徴を感じたり、季節が変わったことに気付いたりすることができます。



春
茎相撲をしたよ！



夏
川に葉を流したよ！



冬
雪でお化粧！



秋
どんぐりでおまごと！

気付き！

どの季節でも、同じ遊びをしてみます。そうすることで、「秋は、落ち葉でふかふかだね。」「冬は、雪でふわふわだね。」と、それぞれの季節ならではの面白さを感じることができます。



落ち葉のベットだよ！→雪のベッドだよ！

落ち葉の音がする！→雪の音がする！